

機械器具 12 理学診療用器具

一般医療機器 眼球圧迫器（JMDN：33804000）

販売名：HB2055 ホナンバルーン

【禁忌・禁止】

ラテックスを含んでいるため、本品に感作またはアレルギーを示す患者には使用しないこと。

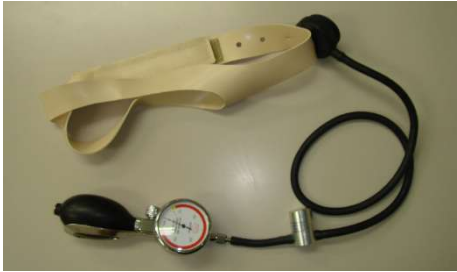
【禁忌・禁止】

1. 本品の二次加工（改造・調整等）は絶対にしないこと〔折損及び本来機能を損なう原因となるため〕。

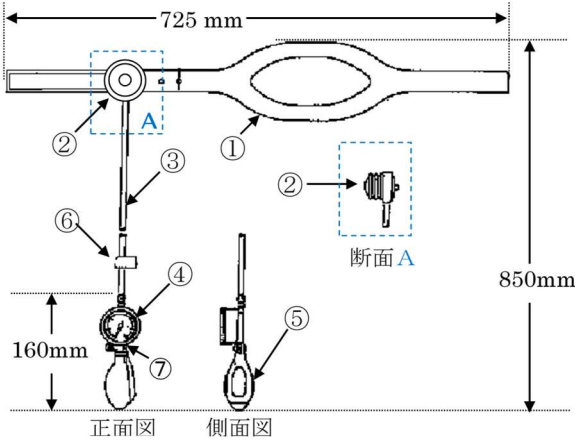
【形状、構造及び原理等】

レリーフバルブより空気が放出されることにより、患者眼球に70mmHg以上の圧力が加わった時、眼球に過剰な圧力が加わることを妨げる構造となっている。

外観写真



形状及び寸法



構成部品及び各部の機能

No.	カタログNo.	名称	機能
1	HB210	ヘッドバンド	ベローズ部を患者眼球上に固定するため、頭部に巻く。
2	HB150	ベローズ	蛇腹状に伸縮し、眼球を加圧する。
3	HB300	ラバーチュービング	バルブエアーポンプからの圧力をベローズに伝える。
4	HB500	プレッシャーゲージ	患者の眼球に加わる圧力をモニターするアナロイド型圧力計。
5	HB560 又は HB5154	バルブエアーポンプ	ゴム球と一方弁で空気を送り出すことにより、圧力を発生。
6	HB400	レリーフバルブ	患者の眼球に過剰な圧力が加わらないようにする。
7	HB530 又は HB541	バルブポンプ	空気の逆流を防止する。

※下記商品にはラテックス又はラテックス化合物を使用しています。
ヘッドバンド(HB210)、ベローズ(HB150)、ラバーチュービング(HB300)、バルブエアーポンプ(HB560、HB5154)、レリーフバルブ(HB400)、バルブポンプ(HB530、HB541)

【使用目的又は効果】

内眼手術前に眼内圧を下げるために使用。

【使用方法等】

1. 眼球に滅菌アイパッドもしくは10cm×10cmガーゼで目を覆う。
2. ベローズを目の上に置き、ヘッドバンドで締め付けないようにゆるく固定する。
3. プレッシャーゲージを見ながら、静かにバルブエアーポンプを握り、少しずつ圧力を上昇させる。
4. 術者の指定した圧力になるまでゆっくりと加圧し、20～30mmHgで約20～30分継続的に加圧する。

【使用上の注意】

1. 使用前に保守点検を行うこと。
特にレリーフバルブ（開放弁）が正常に作動していることを確認すること（レリーフバルブは患者の眼球に70mmHg以上の過剰な圧力が加わった際に安全装置として機能する）。
2. 圧力ゲージは落としたり、強い衝撃を与えないように特に注意すること。
3. 水が掛からないようにすること。
4. 使用時に必要以上の力（応力）を加えないこと。
5. 空気漏れ及び加圧精度が疑われる時は使用を中止すること。

【保管方法及び有効期間等】

1. 高温・多湿・直射日光を避けて保管すること。
2. 水が掛からない場所に保管すること。
3. 使用しない時はプレッシャーゲージのねじを開放すること。

【保守・点検に係る事項】

1. 使用前に汚れ、傷、変形等の異常がないか点検すること。
2. 使用前にレリーフバルブ（開放弁）が正常に作動しているかを必ずご確認すること（レリーフバルブは患者の眼球に70mmHg以上の過剰な圧力が加わった際に安全装置として機能する）。
3. 圧力ゲージ、送気ゴム球、レリーフバルブは高圧蒸気滅菌をしないこと。
特に水分がつかないように充分に注意すること。
4. 加圧したまま（30～40mmHg）50～60分放置し、眼球圧迫部の圧力の減少や、圧力ゲージの目盛りが減少していないかを確認すること。
5. 長期間の使用により、チューブ、眼球圧迫部等が劣化し、亀裂が生じたり、空気漏れが生じたりすることが予測されるため、上記4.の点検により圧力ゲージの初期設定値が減少した場合には、チューブ、眼球圧迫部等を交換し、再点検すること。

＊【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

製造販売業者 株式会社イナミ
〒113-0033 東京都文京区本郷三丁目24番2号
TEL 03-3814-1731 / FAX 03-3814-3334

製造業者 Reingneuity Inc. (アメリカ合衆国)